

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

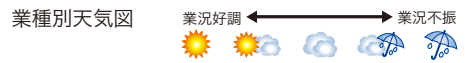
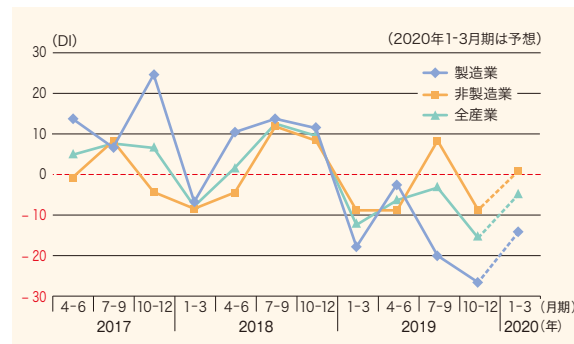
(2019年10-12月期実績、2020年1-3月期見通し)

① 業況概要(自社)

製造業は低下が続く。非製造業も低下に転じる

静岡県東部地域における2019年10-12月期の業況判断DI(全産業:前期比)は、-15.6(前期-3.2)と前期より低下に転じた。業種別では、製造業が-26.6(前期-20.0)と2期連続の低下となった。一般機械器具、パルプ・紙・紙加工品で大幅に低下し、すべての業種で「低下」超の水準となっている。一方、非製造業では、建設では上昇が続いているが、卸・小売・サービスでは大幅な低下に転じ、全体でも-8.7(前期8.4)と2期ぶりに「低下」超に転じた。

2020年1-3月期の予想DI(今期比)は、製造業(-14.1)、非製造業(1.0)とも今期比上昇に転じ、全産業でも-4.8と改善される見通し。



(2019年7-9月期、2019年10-12月期は前期比。2020年1-3月期は今期比予想)

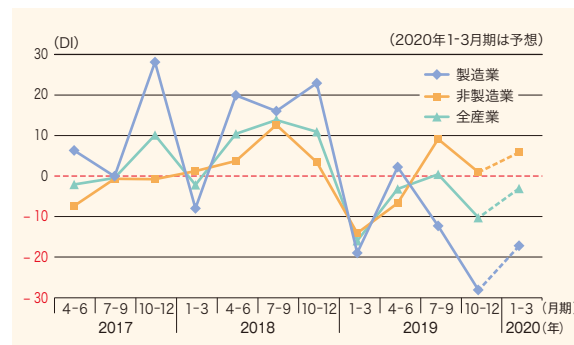
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2019年7-9月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️
2019年10-12月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
2020年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️

② 売上動向

製造業は2期連続で「減少」超、非製造業も低下に転じる

2019年10-12月期の売上動向DI(全産業:前期比)は、-10.2(前期0.5)と低下し、2期ぶりに「減少」超に転じた。業種別にみると、製造業は金属製品で前期比改善したが、食料品、パルプ・紙・紙加工品、一般機械器具で大幅に低下し、全体では-28.1(前期-12.2)と2期連続の「減少」超となった。一方、非製造業は建設で大幅に改善したが、卸・小売・サービスで低下したため、全体では1.0(前期9.2)と前期比低下に転じている。

2020年1-3月期の予想DI(今期比)は、製造業(-17.2)、非製造業(5.9)とも改善に転じる見通しで、全産業では-3.0となっている。

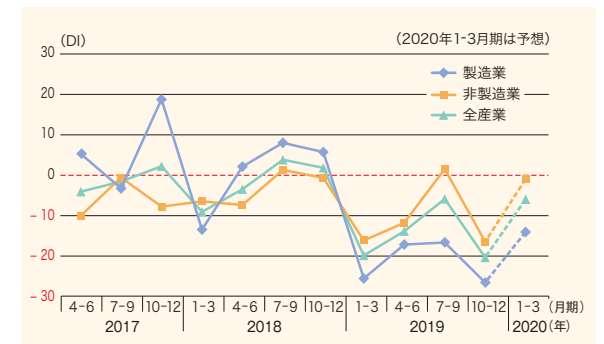


③ 利益動向

製造業、非製造業とも低下し「減少」超となる

2019年10-12月期の利益動向DI(全産業:前期比)は-20.4(前期-5.9)と低下に転じた。業種別にみると、製造業はその他製造業と金属製品で上昇したが、パルプ・紙・紙加工品、一般機械器具、食料品で低下し、全体でも-26.6(前期-16.7)と低下している。一方、非製造業は建設と旅館・その他宿泊所で上昇したが、その他卸・小売・サービスで大幅に低下したため、全体では-16.5(前期1.5)と「減少」超に転じている。

2020年1-3月期の予想DI(今期比)は、製造業(-14.1)、非製造業(-1.0)ともに改善の見通しとなっている(全産業では-6.0)。



④ 経営上の問題点

製造業は「受注・売上の停滞・減少」、非製造業は「人材の育成」が最多

表に掲げた全産業の合計では、「人材の育成」、「受注・売上の停滞・減少」、「求人難」の順に回答が多くなっている。ただし、業種別でみると、最も多い回答は製造業では「受注・売

上の停滞・減少」、非製造業は「人材の育成」と異なっている。一方、これらに続いて2番目に多いのは製造業、非製造業いずれも「求人難」となっている。

	2019年4-6月期		2019年7-9月期		2019年10-12月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1.人材の育成	93	43.1%	87	39.5%	76	45.5%	↑
2.受注・売上の停滞・減少	89	41.2%	96	43.6%	72	43.1%	↓
3.求人難	88	40.7%	89	40.5%	63	37.7%	↓
4.従業員の高齢化	77	35.6%	82	37.3%	56	33.5%	→
5.人件費の増加	55	25.5%	55	25.0%	44	26.3%	→
6.生産・販売能力の不足	43	19.9%	49	22.3%	31	18.6%	→
7.過当競争・製品安	38	17.6%	39	17.7%	29	17.4%	↑
8.原材料・資材・仕入商品の値上がり	51	23.6%	40	18.2%	28	16.8%	↓

(回答企業216社)

(回答企業220社)

(回答企業167社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以东)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業448社 回答企業数167社(回答率37.3%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2019年10-12月期 見通し:2020年1-3月期
- 調査時点 2019年11-12月
- その他 本調査は、12月2日時点の集計による速報値に基づいて分析しています

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。